

## 令和5年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪城音楽堂
施設所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の情操教育及びレクリエーション運動の普及向上を図るため、音楽の演奏その他行事を行うことを目的とする。
業務の概要	大阪城音楽堂の管理運營業務 大阪城音楽堂の利用案内・受付、要望・苦情対応、音楽堂内施設管理、関係機関等との各種連絡調整など、音楽堂の貸出に関する業務等を実施
成果指標	年間利用件数・満足度(「非常に満足」・「まあまあ満足」との合計)
数値目標	年間利用件数80件以上、満足度85%以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 構成員：大阪城パークマネジメント株式会社 株式会社電通 関西支社 讀賣テレビ放送株式会社 大和ハウス工業株式会社 大阪本店 大和リース株式会社 株式会社NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用件数	満足度
数値目標	80件	85.0%
年度実績	101件	88.9%
達成率	126.3%	104.6%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	101,328人	90,882人	10,446人
利用件数	101件	138件	△37件
稼働率	58.0%	42.5%	15.5%

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—	—	
利用料金収入	実績	44,467,825	55,039,254	△1,892,175	当初は11月中旬からの休館予定であったが、11月6日から休館したことによる減収。
	計画	46,360,000	45,308,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	4,640,000	4,350,000	440,000	大阪城音楽堂フェスティバル協賛金収入
	計画	4,200,000	—		
営業外収益	実績	11,635	4,221,033	11,635	(R4)文化庁補助金・雇用調整助成金 (R5)備品購入時のポイント収入
	計画	—	—		
合計	実績	49,119,460	63,610,287	△1,440,540	
	計画	50,560,000	45,308,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	18,874,141	18,604,114	△1,069,859	当初は11月中旬からの休館予定であったが、11月6日から休館したことによる派遣スタッフ時間外勤務の減など
	計画	19,944,000	18,840,000		
物件費	実績	36,265,084	40,601,960	2,026,084	備品費・改修費の増
	計画	34,239,000	44,825,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	4,640,000	4,350,000	440,000	大阪城音楽堂フェスティバル
	計画	4,200,000	—		
営業外費用	実績	3,190	1,854	3,190	営業外収益の配賦分
	計画	—	—		
合計	実績	59,782,415	63,557,928	1,399,415	
	計画	58,383,000	63,665,000		

## 令和5年度 指定管理者年度評価シート

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
年間利用件数(80件)	126.3%	S	工事に伴い5か月ほど休館となったにも関わらず、昨年度以上の利用件数、利用者数を達成している。
満足度(85%)	104.6%	B	アンケート母数は少ないが目標は達成できた。

## (2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
サービス向上に向けた施設の増強と更新のための改修費や備品費の支出が多かったものの、大阪城パークマネジメント共同事業体としては、本市への納付金を納めることができた。	B	新型コロナ前から収支差額が赤字の施設であったが、令和4年度は黒字に転換、今年度は施設老朽化のため修繕工事を行い、休館期間中に本市工事に合わせ指定管理者負担で修繕等を実施し、来年度以降の利用増を目指し努力している。

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	本市による外壁等工事に伴う休館中に、リハーサル室やトイレの改修、備品の整理交換等を行い、利用者の利便性を図り、職場環境の改善を図った。避難誘導灯及び誘導標識のリニューアルや、新たに危険個所の調査を行うなど安全管理についても対応を行った。
事業計画の実施状況	S	事業経過に沿った事業実施が図られており、新型コロナの5類移行の前から活気を取り戻していたが、夏場の利用を中心に利用が増え、令和5年7月の売上が増加し、11月～3月まで修繕工事等のため休館したにも関わらず、年度売上が、昨年について多くなった。
施設の有効利用	A	大阪城公園全体を指定管理として運営しており、他施設・地域とも連携し、施設の有効利用に取り組んだ。
社会的責任・市の施策との整合性	B	職員の人権研修の実施や個人情報その他の文書を適切に管理等計画通り達成する等一定評価できる

## 5 利用者ニーズ・満足度等

令和4年度まではアンケート調査を行っていたが、極めて少ない回答数であったため、令和5年度から回収方法を見直して実施した。令和5年度下期から休館日までに実施したアンケート集計結果により、18者から回答があり、総合的な満足度88.9%を達成している。また、アンケートでリハーサル室やトイレ利用に対して指摘が多かった部分の対応として、改修工事を行った。
---

## 6 外部専門家意見

利用状況について、5ヶ月の休館があったにも関わらず、利用人数が増えているのは頑張ったと評価できる。休館時に改修工事等行ったのは評価したい。 これまで、音響・トイレ・楽屋が古いという弱点があったが、外壁工事等を実施し見た目も見違えるほどきれいになっており、トイレ改修も行き、音響もよくなった。SNSなどのコメントでも好評であり、評価できる。課題は、野外音楽堂なので集中豪雨対策を検討して貰いたい。今後も民間の知恵を生かしより良い施設になることを期待したい。
--

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	休館期間があったにも関わらず、目標値を達成しており評価できる。
市費の縮減	B	赤字施設であったが、努力を重ねており、支出増となっ てはいるが、来年度以降の利用増につながるものであり、評価できる。

### 令和5年度 指定管理者年度評価シート

管理運営の履行状況	A	外壁改修等の工事により休業期間が長かったにも関わらず、年間利用者が増加したこと。売り上げについても昨年度の次に多かったこと。今後の利用増に向け、修理や備品購入、安全管理対策等改善を行っていることなどから評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	利用者がコロナ前に比べ増加している。また、外壁工事等に合わせ、内装・トイレ・備品購入等を行い、今後の利用増につながることであり評価したい。